

基本検索画面

ジャパンナレッジの中核となるのが基本検索です。検索ボックスに調べたい言葉を入力してみてください。信頼できる70以上のコンテンツを一括検索して、知識情報をご提供します。検索範囲の絞り込みなども視覚的に誘導していきます。

検索メニュータブ

検索機能を切り換え
クリックすると「基本検索」「詳細（個別）検索」「本棚」の画面表示を切り替えることができます。

検索範囲

「見出し」と「全文」を切り替えます。初期設定では「見出し」になっています。

コンテンツファセット

絞り込み機能

分野名やコンテンツ名の右には、それぞれの検索でヒットした件数が表示されます。この中から興味のある分野やコンテンツを選んで、その名称部分をクリックしてください。これにより名称左にチェックマークが付いて、選んだもののみが検索対象となり、同時に絞り込みの結果が検索結果一覧に表示されます。

☒ 百科

☒ 日本大百科全書 17

チェックマークを外すときは、もう一度名称部分をクリックしてください。複数の分野やコンテンツを選ぶこともできます。

メディアファセット

各種メディアもファセットで絞り込み

各コンテンツに付随する「画像」「音声」「地図情報」などの各種メディア情報で絞り込みができます。画像、音声、地図情報を含む項目にはアイコンが表示されます。サムネイルがあるものは右側に画像が表示されます。

本文表示画面

本文画面にも便利な機能が搭載されており、さらに知識を拡大することができます。

引用元挿入機能

レポート作成時の強い味方

Knowledge Searcher引用元挿入機能

前項目次項目印刷凡例

引用元挿入機能ボタンをクリック

ジャパンナレッジには、コピー＆ペーストした本文テキストに、その引用元を自動的に追加する機能が搭載されています。コピーしたテキストを任意のワープロソフトにペーストすると、引用元の情報が自動的に挿入されます。

1894年IOC（国際オリンピック委員会International Olympic Committee）を創設し、全世界の青年の平和の祭典としてオリンピックを4年ごとに定期的に開くことに成功した。

「オリンピック」、日本大百科全書（ニッポニカ）、JapanKnowledge、<https://japanknowledge.com>、（参照 2019-01-11）

表示される引用元情報：項目名、コンテンツ名、データベース名（ジャパンナレッジ）、入手先 URL、参照日時

※この機能は、使用しているブラウザが Google Chrome、Microsoft Edge である場合に有効です。

※コピーした文が 19 文字以下の場合には機能しません。

ドロータイプメニュー

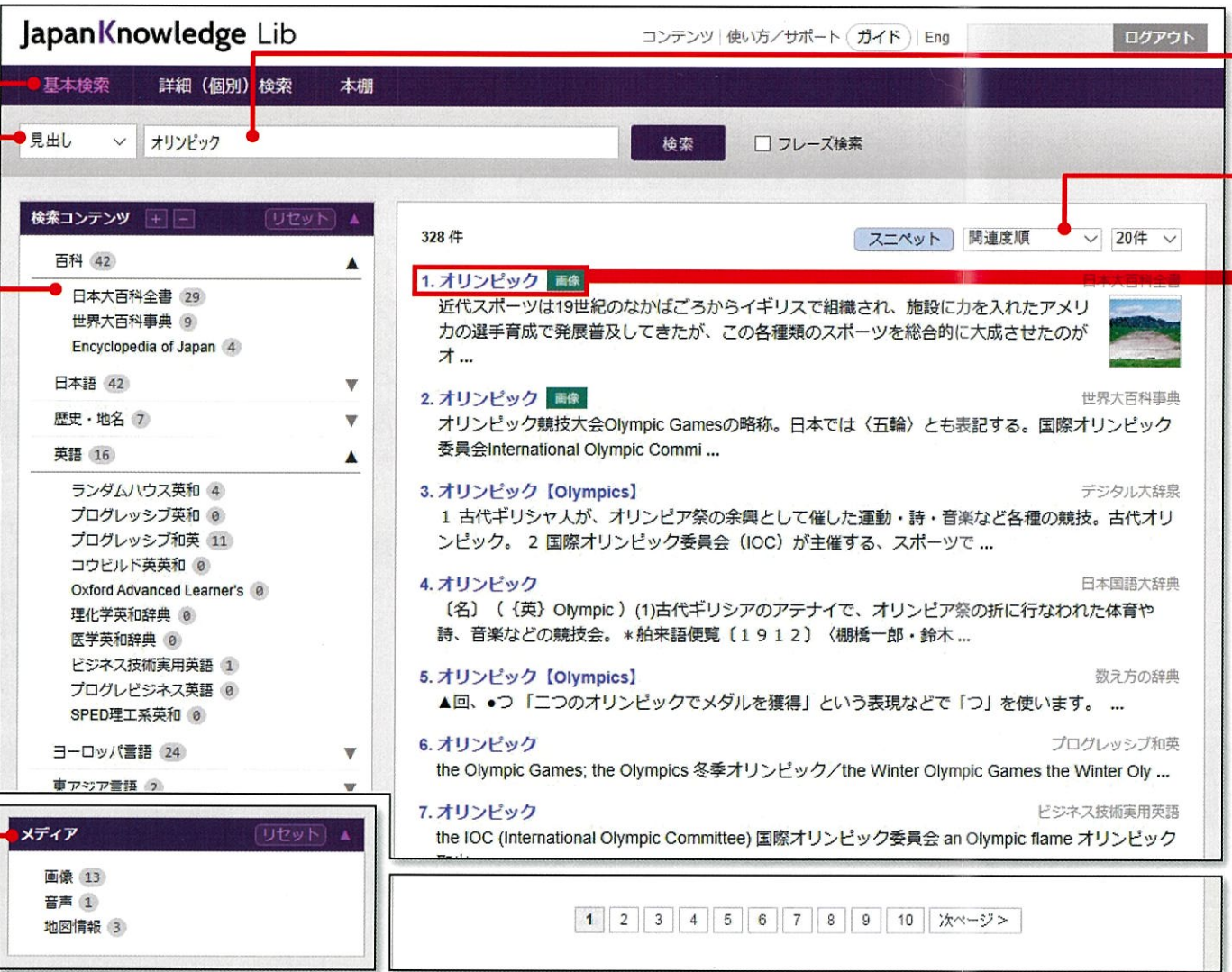
ページ右上にある各種「機能ボタン」をブラウザの左下にも表示しています。「◀」ボタンで格納することもできます。

① Knowledge Searcher ② 引用元挿入機能 ③ 前項目 ④ 次項目 ⑤ 印刷 ⑥ 凡例

※コンテンツによって表示内容は異なります。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

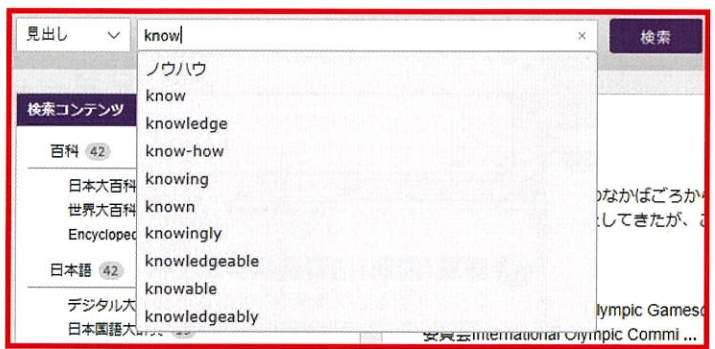
◀ ▶ 🔍 📄 📋 📖



検索ボックス

もしかして機能サジェストで入力サポート

はじめの数文字を入力すれば、前方一致で当てはまる項目の候補が最大で 10 件表示されます。どのような項目が存在しているか把握でき、また英語などの綴りがあいまいでも目的の項目を見つけることができます。



画像は公開中のものと異なる場合がございます。

検索結果の表示

スニペット／ソート／表示件数の切り替え

スニペット（本文の一部）の表示／非表示、ソート（並び順）切り換え、表示件数の変更などで検索結果を自分が見やすいようにカスタマイズすることが可能です。※検索結果の表示は上位1000件までです。

ソートについて
検索結果のソート（並び順）の初期設定を「関連度順」にしているのは、検索語とより適合度が高い項目順に並べることで調べたいものを先頭に提示することを意図しています。

関連度順	関連度順……………検索語と項目名が一致する度合いの高い順（適合度順）
見出し語 昇順	完全一致 → 前方一致 → 部分一致
見出し語 降順	見出し語 昇順……………見出し語の文字コード昇順（数字→英字→ひらがな→漢字）
情報量 多い順	降順……………見出し語の文字コード降順（漢字→ひらがな→英字→数字）
情報量 少ない順	情報量 多い順……………項目本文中の文字数が多い順
コンテンツ 昇順	少ない順……………項目本文中の文字数が少ない順
コンテンツ 降順	コンテンツ 昇順……………左側のコンテンツ一覧の順
	降順……………左側のコンテンツ一覧の逆順

検索結果一覧から閲覧したい項目をクリックすると、その項目の本文画面が表示されます。

本文内検索

検索画面に戻らずに、本文表示画面上ですぐに検索が可能です。検索対象は、現在表示しているコンテンツとすべてのコンテンツを選択できます。



ナレッジサーチャー Knowledge Searcher

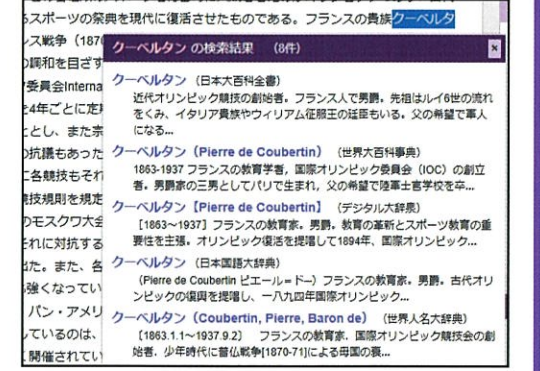
調べものの途中で知識を拡張

Knowledge Searcher ボタンをクリック

Knowledge Searcher引用元挿入機能

前項目次項目印刷凡例

本文中で検索したい言葉（テキスト）をマウスでなぞって選択します（文字色が反転します）。選択すると、別ウィンドウが開き、検索結果を表示します。



※ Knowledge Searcher で検索できる文字数の上限は 40 文字です。それ以上の文字を選択すると Knowledge Searcher は動作しません。また、外字画像を含む文字列は選択しても正しく動作しないのでご注意ください。